

インフルエンザ週報 2025年 第47週 (11月17日～11月23日)

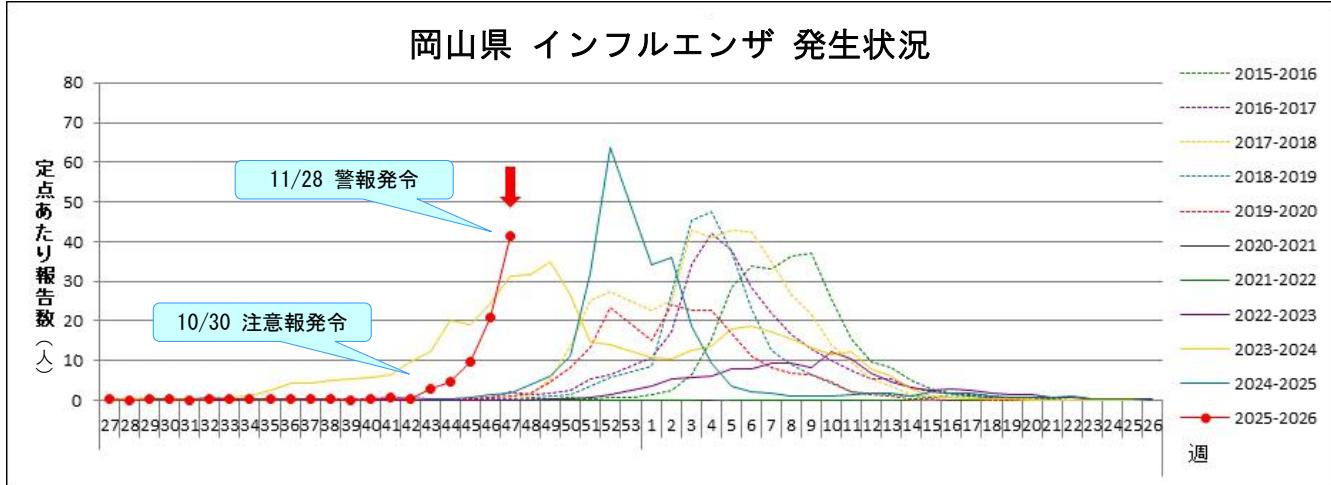
岡山県は『インフルエンザ警報』を発令しました(11月28日)

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で2,061名（定点あたり41.22人）の報告がありました（50定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が139施設ありました。
- インフルエンザによる入院患者15名の報告がありました。

【第47週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が94施設ありました（11月25日～26日）。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

※2025年第15週以降定点がインフルエンザ/COVID-19定点（84医療機関）からARI定点（50医療機関）になりました。

インフルエンザは、県全体で2,061名の報告があり、前週から増加しました（定点あたり21.00→41.22人）。岡山県は10月30日に「インフルエンザ注意報」を発令し、注意喚起を図ってきたところですが、県全体の定点あたり報告数が警報発令基準の30.00人を上回り、流行時期等から今後も患者が増加する可能性があるため、11月28日に『インフルエンザ警報』を発令し、さらなる注意喚起を図ることとしました。

県内の発生状況に注意するとともに、基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、場面に応じてのマスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。また、予防接種を予定されている方は、早めに済ませましょう。

◆インフルエンザが流行中です。感染に注意しましょう◆

【感染防止策の徹底】

- ・場面に応じたマスクの着用、手洗い、手指消毒の実施
- ・室内の適度な湿度の設定、定期的な空気の入れ替え
- ・高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・十分な休養、バランスのとれた食事

【予防接種を検討中の方は早めの接種を】

特に高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクが高い方は、インフルエンザワクチンの接種を検討しましょう

（ワクチン接種により、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります）

【発熱等の症状が出た時は】

- ・早めに医療機関を受診する
- ・周りの方へうつさないように「咳エチケット」を！
- ・水分を十分にとり、安静にして休養をとる

⇒ 詳細は岡山県ホームページ『[インフルエンザ対策について](#)』をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況(人)		推移	地域名	発生状況(人)		推移
岡山県全体	患者数	2,061		備 中	患者数	210	
	定点あたり	41.22			定点あたり	42.00	
岡山市	患者数	976		備 北	患者数	136	
	定点あたり	54.22			定点あたり	34.00	
倉敷市	患者数	525		真 庭	患者数	85	
	定点あたり	43.75			定点あたり	42.50	
備 前	患者数	77		美 作	患者数	52	
	定点あたり	19.25			定点あたり	10.40	

【記号の説明】前週からの推移

: 大幅な増加

: 増加

: ほぼ増減なし

: 減少

: 大幅な減少

大幅 : 前週比 100% 以上の増減

増加・減少 : 前週比 10~100% 未満の増減

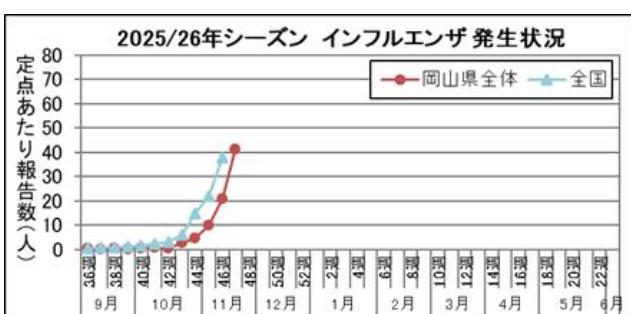
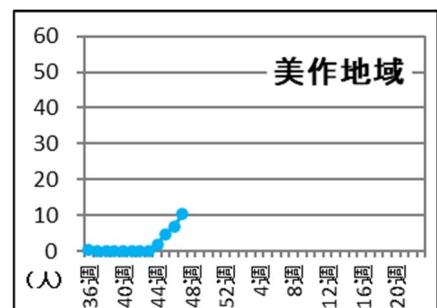
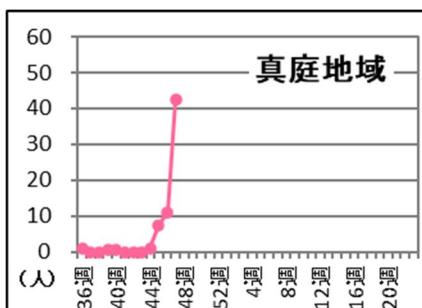
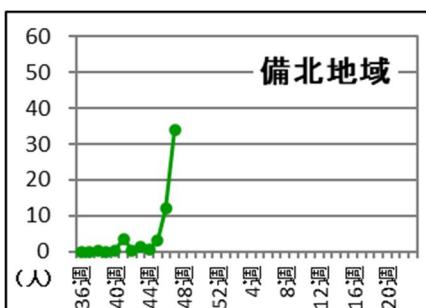
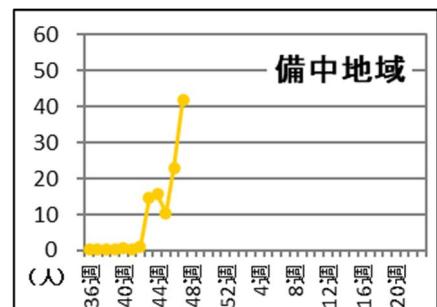
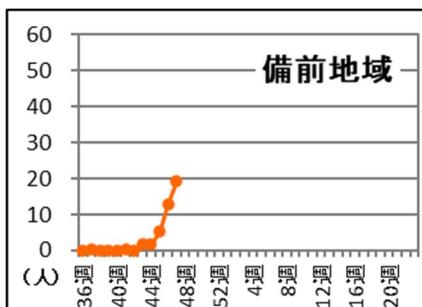
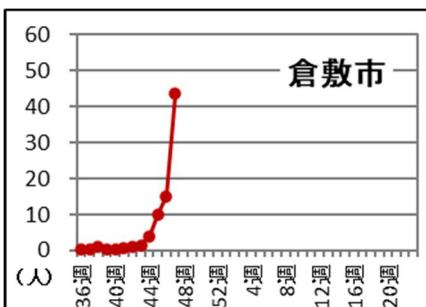
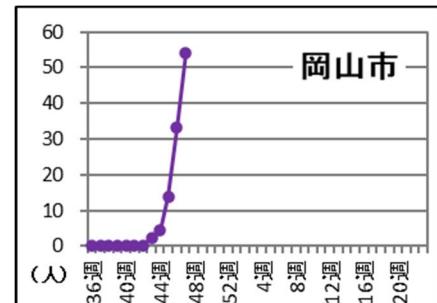
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値	基準値	
0 < 10 未満	0	

※数字は定点あたり報告数

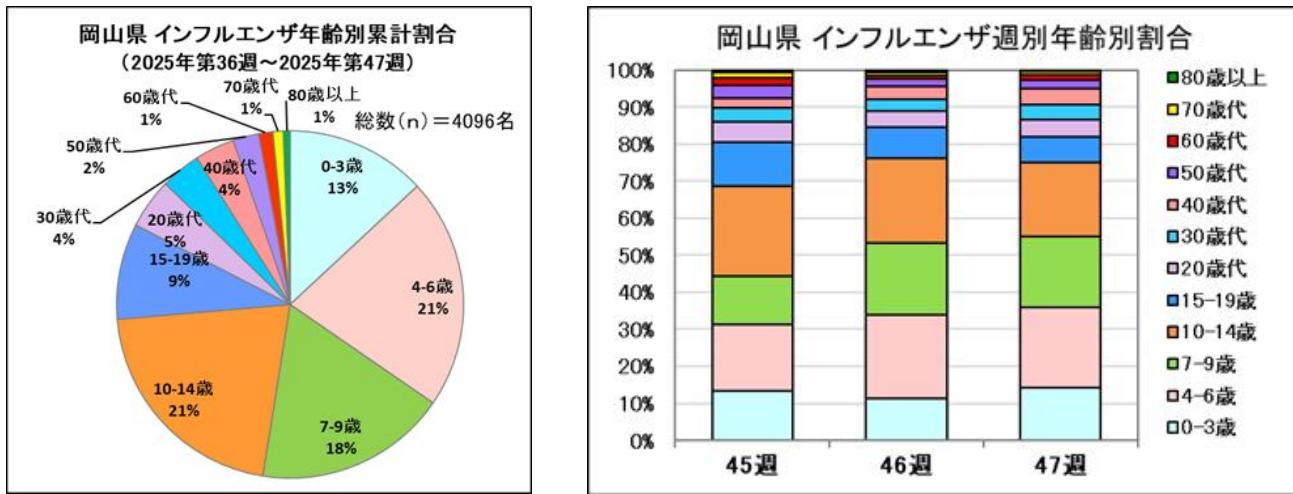


全国集計 2025年第46週(11/17~11/23)速報値によると、全国の定点あたり報告数は37.73人となりました。

都道府県別では、宮城県(80.02人)、埼玉県(70.01人)、福島県(58.54人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。46都道府県で前週の報告数から増加しました。

[インフルエンザの発生状況について\(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況



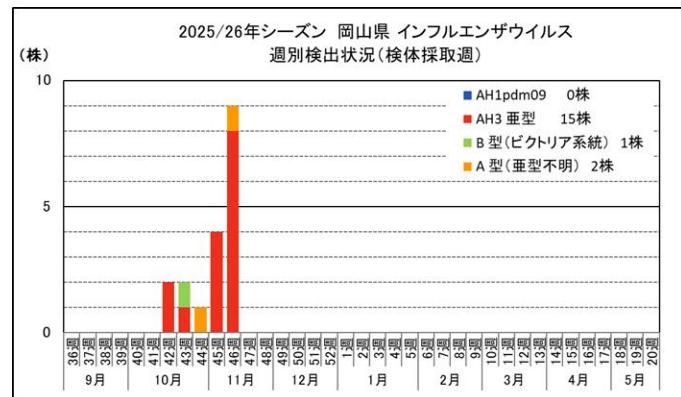
※定点医療機関は、小児科定点（28 医療機関）が内科定点（22 医療機関）に比べて多いため、報告数は小児に偏ります。

3. インフルエンザウイルス検出状況

【岡山県】

2025年第47週に新たに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは2株で、全てA型亜型不明でした。

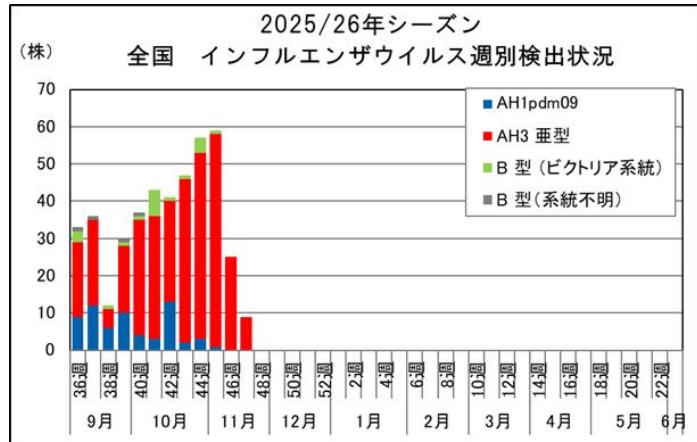
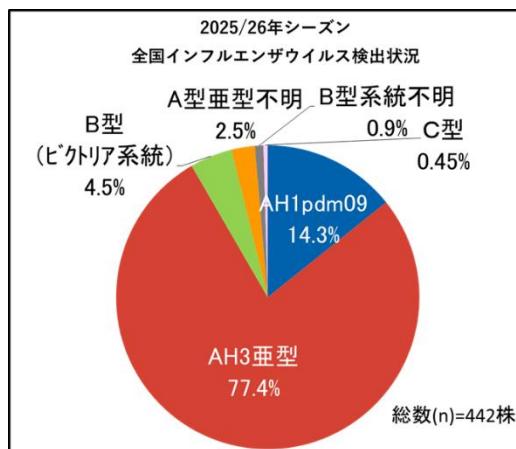
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは18株で、AH3亜型が15株、B型（ビクトリア系統）が1株、A型亜型不明が2株となっています。



【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09が63株、AH3亜型が342株、B型（ビクトリア系統）が20株、A型亜型不明が11株、B型系統不明が4株、C型が2株となっています（11月25日現在）。

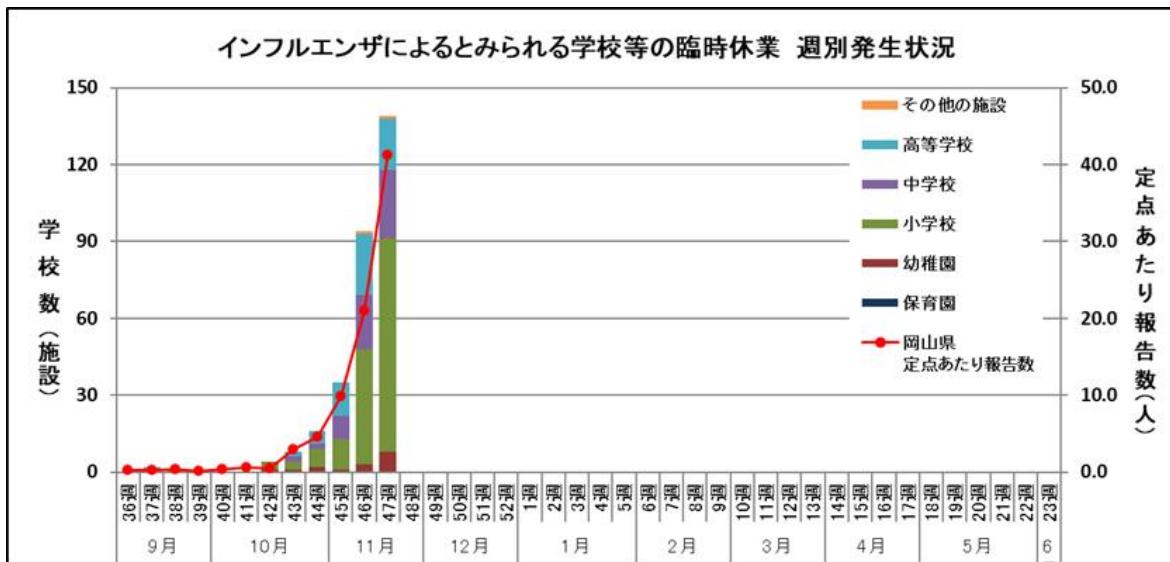
[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立健康危機管理研究機構）](#)



※集計が異なるため一部の型が報告されていません。

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、139 施設ありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第 47 週	0	8	83	27	20	1	139
累計	0	16	154	61	66	2	299

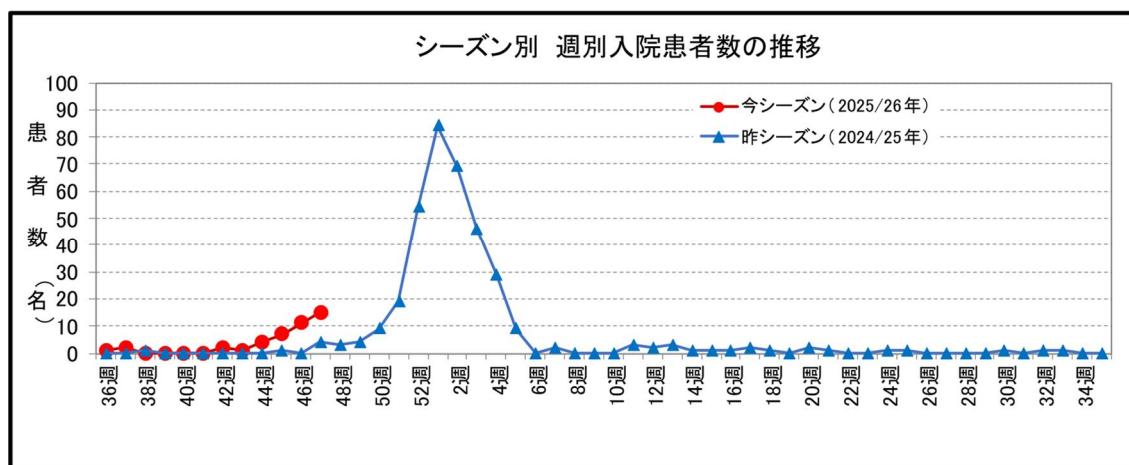
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [\(R7年度シーズン\) 岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、15 名の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化するがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 47 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	3	1	1	1					4	3	1	15
ICU 入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *													
頭部 MRI 検査(予定含) *		1	1										2
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	1	2		1	1					4	3	1	13

* 重複あり

【2025 年 9 月 1 日（第 36 週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	4	12	4	3	2				2	5	6	5	43
ICU 入室 *		1									2		3
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *												1	1
頭部 MRI 検査(予定含) *		1	3	1								1	6
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	4	10	1	2	2				2	5	4	4	34

* 重複あり

[令和7年度 急性呼吸器感染症（ARI）総合対策に関するQ&A（厚生労働省）](#)

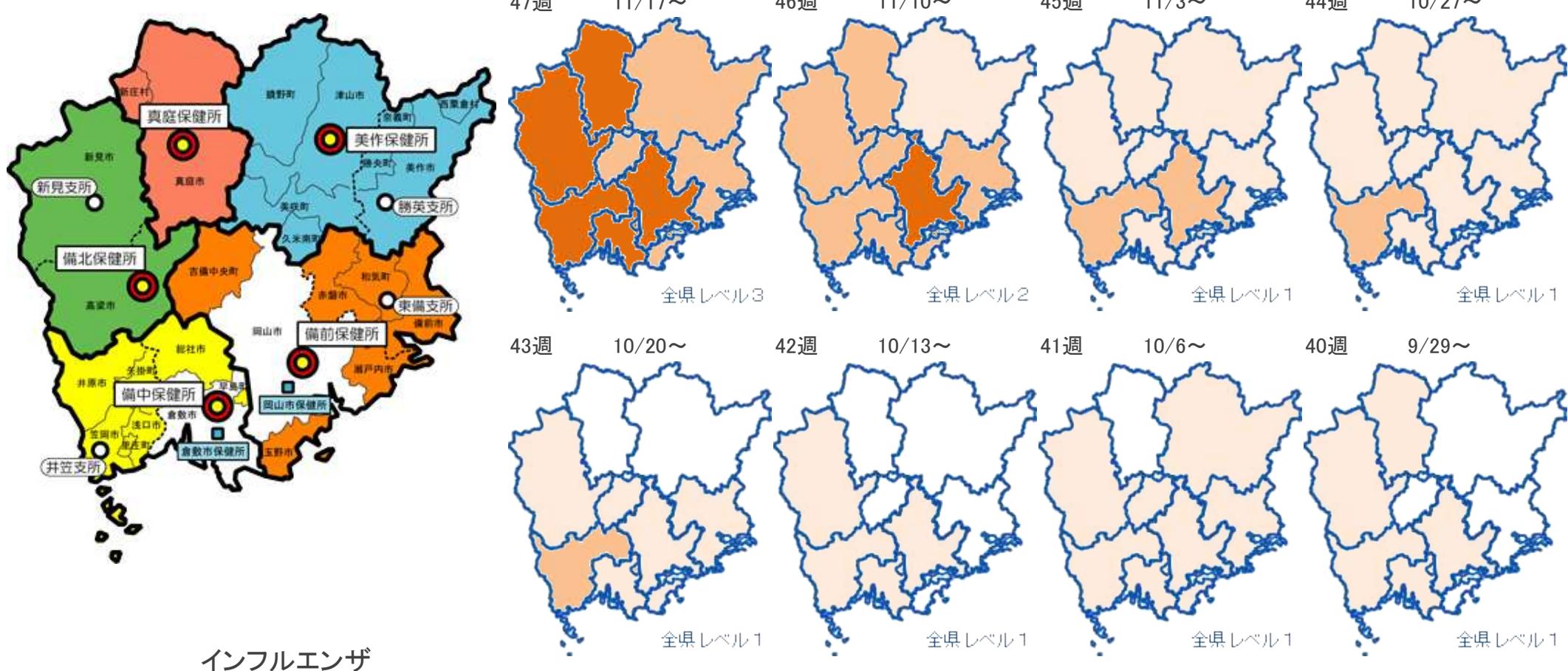
[令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策（厚生労働省）](#)



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2025年 47週

2025年11月26日

11:27:26



レベル3	レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がるまでレベル3が継続されます。